

# 次世代の農業を担う人材育成・確保に向けた取組

農業を学ぶ生徒や学生に農業に関する政策・施策や行政の取組を知ってもらうため、講演や意見交換を実施するとともに、冊子「百花繚乱」の作成及び配布を起点にし、若い世代に農業から環境や社会の関わりを身近に感じてもらうための取組を展開。

## ○ 施策分類

新規就農

## ○ きっかけ・背景、課題の把握

当県拠点では、那須拓陽高等学校の部活動である「牛部」の生徒との意見交換をきっかけに、平成29年度から農業高校等と栃木県拠点との連携した取組を開始し、就農意欲を喚起する取組の一つとして、栃木県内農業関係高校等の生徒や学生の活動を冊子「百花繚乱」に取りまとめ、毎年発行している。

## ○ 取組の内容

県内の農業高校等の特徴的な取組を通じ、農業の魅力や産業としての位置づけ、自然環境の保全、食料安全保障への寄与、社会構造等、農業の持つ多面的機能の重要性を知ってもらうため、「百花繚乱」を中学校、高校、教育関係者、消費者、農業関係者、自治体等に幅広く配布している。また、この活動を起点に農業高校、農業大学校、宇都宮大学農学部と連携した特別授業や意見交換等の取組を展開している。

## ○ 効果・成果、今後の方向性

「百花繚乱」は、生徒の進路の選択肢として農業の担い手に関心がある生徒とその親、教員、全国高等学校農場協会、自治体、JA等の団体に関覧されており、また、中学校での進路相談等の資料としても活用され、高評価を得ている。今後も「百花繚乱」の作成・配布を起点に農業関係者等と連携した取組を展開し、一人でも多くの若者が農業に魅力を感じ、新規就農の契機となるよう、この取組を継続していきたい。



体制図

